

令和3年度

角田・伊具地区中学校新人大会 野球競技実施要項

1 大会日程および役員

(1) 期 日 令和3年9月25日(土)

【予備日：9月26日(日)】

※26日も順延の場合は、10月2日に行う。

(2) 会 場 角田市野球場 (サブグラウンドは多目的運動場)

(3) 役 員

部会長	萱場 恒行	(北角田中学校)
委員長	高嶋 秀紀	(丸 森中学校)
副委員長	山信田孝平	(北角田中学校)
委 員	吉田 啓介	(角 田中学校)
	藤原 海帆	(角 田中学校)
	齋藤祐一郎	(北角田中学校)
	齋藤 博	(丸 森中学校)
会場主任	山信田孝平	(北角田中学校)

(4) 審判員 宮城県野球連盟角田市支部審判員

(5) 日 程

6:00	実施判断
6:30	開場
7:30	打合せ
8:30	第1試合 (A 角田中学校 -B 丸森中学校)
	(※試合の間は40分以上空けること。)
11:00	第2試合 (C 北角田中学校-B 丸森中学校)
	(※試合の間は40分以上空けること。)
13:30	第3試合 (C 北角田中学校-A 角田中学校)
16:00	片付け, 解散

(6) 競技規則 2021年日本野球規則および角田・伊具地区野球専門部の申し合わせ事項(別紙①)による。

※リーグ戦方式で、正式試合は通常7イニングからなる。

※勝敗が決しない場合は、特別延長戦で勝敗を決する。

※次の方法で順位を決定する。

- ① 2勝したチームを優勝とする。
- ② 「7イニングでの勝ち」は勝ち点3、「7イニングでの負け」は勝ち点0、「特別延長戦での勝ち」は勝ち点2、「特別延長戦での負け」は勝ち点1とし、勝ち点の合計で順位を決定する。
- ③ ①②の方法でも同点の場合には、該当チーム同士の勝敗で順位を決定する。
- ④ ①②③の方法で同点のチームが生じた場合には、「得点率(得点/攻撃イニング) - 失点率(失点/守備イニング)」の高いチームを上位とする。

※上記の計算に特別延長は含まない。
- ⑤ ①②③④の方法でも順位がつかない場合は、角田伊具地区野球専門部で再試合を行う方向で検討する。

(7) 組合せ

1 塁側

3 塁側

第1試合 (A 角田中学校 — B 丸森中学校)

第2試合 (C 北角田中学校 — B 丸森中学校)

第3試合 (C 北角田中学校 — A 角田中学校)

※優勝校が三地区大会への出場権を得る。(10月9日実施)

(8) コロナウイルス感染防止の対策について

1) 運営側の対策

①本大会は無観客で行う。

②役員のマスク着用

③試合会場内は、試合を行う該当選手、審判、役員など最小限の人数とする。

2) 各校及び各家庭に求める対策

①選手、顧問のマスク着用(試合時を除く)

②大会参加について、保護者の同意を求め、同意のあった選手のみ参加とする。

③保護者の応援については、~~家族のみ、一家庭2名までとする。大会当日は、マスクの着用、消毒(野球専門部で準備)、朝の検温、応援者同士の間隔が密にならないようにする。(本大会は無観客で行う)。~~

④大会2週間前からの選手の検温、当日の朝の検温実施。発熱、体調不良は参

加を認めない。※家庭（家族）内での発熱，体調不良も含む。

(8) 熱中症対策について

- ① コロナウイルス感染防止同様の対応を行う。
- ② 生徒への健康観察をできる限りこまめに行う。
- ③ 状況に応じ通常より多くの給水タイムや休憩時間を設定する。
- ④ 休日当番医を確認し，緊急時の対応に備える。

(9) 連絡・登録・問い合わせ先

登録メンバー表は，9月21日（火）の朝までに丸森中学校・高嶋までメールにて送付

連絡・登録・問い合わせ先 学校 〒981-2167 伊具郡丸森町字田町南24番

地2

※

電話 0224-72-2145 FAX 0

パ

ン224-72-1516

フ

レ

メール

ツ

h-takashima_jh@town.marumori.miyagi.jp

ト

作

成のためメールで送付願います。原本（職印が入ったもの）は大会当日に，専門委員長に提出のこと。

※外部コーチ承認届は，大会当日，専門委員長に原本を提出のこと。

3) 運営計画

	内 容	担当チーム・役員
前日まで	中体連からのお金の管理・審判団への連絡	委員長
	会場打合せ（要項持参，角田市体育館にて）	委員長
	対戦表の準備	丸森中学校顧問
	開場（6：30）	委員長
第1試合	グラウンド整備・ライン引き（シートノック後）	第2試合校（C）
	SBO・得点掲示(顧問)，審判水出し(2)	第2試合校顧問
	ボールボーイ(4)	当該試合校
	記録・対戦表への記入	第2試合校顧問
第2試合	グラウンド整備・ライン引き（シートノック後）	第3試合校（A）
	SBO・得点掲示(顧問)，審判水出し(2)	第3試合校顧問
	ボールボーイ(4)	当該試合校
	記録・対戦表への記入	第3試合校顧問
	審判昼食・飲み物準備	副委員長
第3試合	グラウンド整備・ライン引き	第1試合校（B）
	SBO・得点掲示(顧問)，審判水出し(2)	第1試合校顧問
	ボールボーイ(4)	当該試合校
	記録・対戦表への記入	第1試合校顧問
試合終了後		
	最終グラウンド整備・ベンチの掃除	第3試合校・役員
	サブグラウンド整備・球場全体のごみ拾い	第1試合校・役員
	球場の施錠	委員長
	鍵の返却	委員長

大会競技規則及び解説

角田・伊具地区中体連 野球専門部

2021年日本野球規則及び競技者必携並びに角田・伊具地区地区中体連野球部会の申し合わせ事項による。

【選手登録】

- (1) 1チームの編成は、監督（引率者）1名、選手9名以上20名以内とする。（20名以外にスコアラーをおくことができる）女子の参加も認める。この他に教職員、部活動指導員を2名追加することができる。ただし外部コーチが入る場合は1名とし、計23名以内とする。

〔常時ベンチ内に入れるのは20名以内とする。（ボールボーイは含まない。）〕

【試合前】

- (2) 出場校は、定刻1時間前までに集合し、本部に通告すること。
- (3) 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定は、試合開始予定時刻の40分前とする。第2試合以降は、前試合の終了後とする。各チームの監督と主将はメンバー表を持参し、本部役員と当該審判員とで打合せをする。

【解説】

- *メンバー表は4通提出。（対戦チーム、審判、本部、アナウンス、自チーム）
- *試合前の投手の投球練習のブルペン使用については、4回終了後又は試合開始60分経過後とする。ただし、試合中のチームに了解を得ること。
- *補助員としてコーチを認める。また、コーチ1人のブルペン捕手を認める。**

- (4) ベンチは、抽選番号の若い方を1塁側とする。
- (5) 試合前のフィールドイング（シートノック）は、原則として7分以内、各チームの初戦に当たる試合のみ行うこととする。

【解説】

- *短縮されたり、省略される場合もある。
- *ノッカーは選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。（アップシューズ可）
- *試合前の練習及びノックには登録選手以外に補助員をつけることができる。（5名まで）
- *補助員は、背番号のないユニフォームもしくは練習用のユニフォームとスパイク、ヘルメットを着用すること。

- (6) バット・マスク・ヘルメット等の用具は、試合前に審判員の確認に応じなければならない。

〈感染症予防について〉

- 各チームの引率する生徒は、登録メンバー（20名）のみとする。（ただし、チーム事情を考慮する場合もある）
- ウォーミングアップ前後に、必ず手洗いやアルコール消毒を行う。
- 第2試合目のチームのベンチへの入場は、前試合のチームがグラウンドを退場し、ベンチ内のアルコール消毒作業終了後とする。（各チームの選手が交差しないように配慮する）
- 自チームのベンチでは、必ずマスクを着用させる。**
- ボールボーイは、対戦するチームから2名ずつ配置する。
- 手洗いやアルコール消毒をしっかりとさせる。

【試合中】

- (7) リーグ戦方式で正式試合は通常7イニングから成る。
- (8) 3回以降15点以上、または5回以降7点以上差がついた時は、コールドゲームを宣言する。
- (9) 攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とランナーコーチは、ミーティングに参加せず、直ちに所定の位置に着くこと。
- (10) 攻守交代の時、投手またはプレートに最も近い野手が、球を投手板の近くに置くこと。
- (11) 試合中の球場内では、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。次打者席では投手が投手板に位置したら投手に注目し、素振りはしない。
- (12) 投手の準備投球は、初回と投手交代時は7球以内とするが、2回以降は3球とする。また、捕手、予備捕手は安全のためマスクをかぶる。

【解説】

*準備投球数は審判が状況を考慮して判断する。

- (13) メガホンの使用は、監督のみとする。
- (14) 選手交代の申し出は監督が行う。コーチは試合前のノックを行うとき以外はベンチから出ないものとする。
- (15) 審判員に対して規則適用上の疑義については、当事者と監督が直接質問することができる。
- (16) スピーディーな試合進行のため、投手交代を伴わない監督による守備のタイムは1イニング2度以上とすることはできない。

【解説】

*投手を対象にとる2度目のタイムについては、(19)を参照。

- (17) 本塁打を打った打者に握手を求めるためにグラウンドに出てはいけない。
- (18) 『危険防止のための徹底事項』
 - ① 用具は必ず規定のものを使用し、バットリング・鉄棒等の球場への持ち込みを禁止する。ただし、マスコットバットの使用は認める。
 - ② 足を上げてのスライディングは禁止し、現実に妨害となった場合は走者をアウトにする。
 - ③ 捕手のレガース・ヘルメット・プロテクター・スロートガードと、打者と走者の両耳付きヘルメットは必ず着用すること。

【解説】

*投球練習時の控え捕手の防具も着用する。

*ランナーコーチもヘルメットを着用すること。

- ④ 「2016年度 競技規則改正」(9)6.01(i)参照。中学校野球では「ボールを保持しているときしか塁線上に位置することはできない」こととする。
- ⑤ 故意に選手にタックルをするようなラフプレーは禁止する。
- ⑥ 危険防止のため、極端な前進守備はしない。
- (19) 規則3.03原注〔前段〕「投手は同一イニングで投手以外の守備についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることもできないし、投手に戻ってから投手以外の守備位置に移ることもできない」は適用しない。

【解説】

*中学校野球では登録人員の関連で本規則を適用しないとしたものである。作戦場の目的等、本来の趣旨からはなれて利用されることのないように留意されなければならない。

- (20) 公認野球規則のうち、定義38「ILLEGAL PITCH」(反則投球の)【注】の削除について、下記の通りとする。

アマチュア野球規則委員会の通達通り“二段モーション”といわれる投球動作に関しては走者がいない場合にはボークとカウントしない。ただし、正しい投球動作を身に付けるため、攻守交代時または、試合終了時にその投球動作を注意する。

(21) 『監督が投手のところに行く回数の制限』（8.06 関連）

- ① 監督が1試合に投手のところに行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦（タイブレーク方式を含む）は2イニングに1回行くことができる。
- ② 監督が、同一イニングに同一投手のところへ2度目に行くか、行ったと見なされた場合（伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところに行かせた場合）は、投手は自動的に交代しなければならない。“中学校野球”では、交代した投手が、他の守備位置につくことが許される。
- ③ 監督が投手のところへ一度行くか行ったと見なされた場合は、球審は、あと一度行けば投手を交代させなければならない旨を知らせる。なお、一度目に知らせなかった場合は、2度目に行こうとしたとき、球審はその旨を知らせなければならない。

ただし、球審が知らせなくても、監督が同一イニングに同一投手のところへ二度行くか行ったと見なされた場合は、投手は自動的に交代することになる。

- ④ 捕手または野手が、一試合に投手のところに行ける回数は3度以内とする。ただし、監督と共に行った場合は除く。なお、延長戦（特別延長戦も含む）になった場合は、2イニングに一度行くことができる。捕手または野手が投手のところへ行った場合、そこに監督が行けば、双方一度として数える。（逆の場合も同様とする）

(22) 攻撃側のタイムは1試合に3回以内とする。なお、延長戦は（特別延長戦も含む）は2イニングに1回とする。守備側のタイム中に攻撃側は指示を与えることができるが、守備側のタイムよりも長引けば攻撃側の1回とカウントされる。（攻撃側のタイム中についても同様とする）

(23) 塁上の走者、及びコーチスボックスやベンチから、球種などを打者に知らせるための行為を禁止する。

(24) 延長戦は行わず、勝敗が決しない時は8回より次のようなタイブレークを適用する。

<タイブレーク> 継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁走者は前の打者とする。すなわち、無死1、2塁の状態にして1イニング行い、得点の多い方を勝ちとする。勝敗を決しない場合は、さらに継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様に、規則によって認められる選手の交代は許される。

(25) 守備時間が長い場合（概ね20分）には健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする。

(26) ベンチ内での電子機器（携帯電話、パソコンなど）の使用を禁止する。

(27) 暗黒、降雨などで試合が途中で中止になった場合は、5回以前に中止になった場合はノーゲームとし、翌日再試合を行う。正式試合として成立した後に同点で打ち切られた場合は、翌日に特別継続試合を実施する。

(28) 応援団は、次の禁止事項を守ること。なお、これについては各チームの部長監督が責任をもって指導すること。

- ① 紙吹雪・テープ・個人名の書いたのぼり、等を禁止する。
- ② 和太鼓の使用を禁止する。

- ③ 相手チームをやじったり、相手チームに不利を招くような応援をしない。
- ④ 応援席周辺を散らかさない。ゴミは持ち帰る。

〈感染症予防について〉

○試合開始及び終了後のあいさつは、ベンチ前に整列し、行う。

- キャッチャーマスクを共有して使用する際は、必ずアルコール消毒を行う。
- 自チームのベンチでは、必ずマスクを着用させる。
- 選手を集合させる際は、短時間で終わらせる。また、試合前やイニング毎の円陣（声出し）はさせない。
- マウンドに集まる際は、グローブで口元を隠して会話を行う。
- 選手交代を行う際、審判との距離を保ちながら背番号で交代を告げる。
- 選手同士のハイタッチ等不要な接触をさせない。

【試合後】

- (29) 試合終了後のあいさつは、ホームプレートを挟んですべて完了することとし、相手ベンチ前へはいかず、次の試合のために速やかにベンチをあげること。

【解説】

* 試合開始、終了時のあいさつの際は、部長・コーチもベンチ前で同時にあいさつをする。

- (30) 各チームの部長か監督は、球場を去る前に本部に連絡し、次の試合日程等の確認を行う。

〈感染症予防について〉

- 手洗いやアルコール消毒をしっかりとさせる。
- ベンチ内のアルコール消毒作業を行う。（引率教員が行う。）
- グラウンド整備については、マスク着用の上で行う。

【その他】

- (31) 監督・コーチは、選手と同一のユニフォームを着用し、監督は背番号 30・コーチ 29, 28 をつけるものとする。
- (32) ベンチ以外からの指示及びコーチングは認めない。
- (33) 選手のテーピングは、肌の色に近いものを用い、投手は投球に影響を与えるものは使用できない。
- (34) 選手の頭髪、身なり等は、中学生らしく、試合中はもちろんのこと、試合前後においてもスポーツマンらしくマナーには十分留意すること。

【解説】

* ハイカットのストッキング、リストバンドは禁止し、装飾品は一切表には出さない。

* 相手を威嚇するような声掛けはしない。声掛けはベンチ直前で行う。

* 打者及び野手の手袋の使用を認める。また、打者のレッグガードやエルボーガード、リストサポーター等のユニフォームの外側に装着する装具は認めない。

- (35) 天候等による大会の実施の可否、試合の中断及び日程の変更は大会本部で決定し連絡する。
- (36) 登録選手の変更は、校長の理由書をつけて、当日の朝、大会本部に提出し許可を得ること。

【解説】

※登録後身体的な障害を受け、出場不可能と認められる者が生じた場合のみ、変更願い書（理由書を付記）提出をもって認められる。（様式は各校にお任せします）

- (37) 使用するバットは、木製バット、金属性バット、カーボン製バットとする。金属性バットについては金属材料とカーボン材料の複合製品は認める。その際「J. S. B. B」マークを付けた公認品で「SG」マークと中学生以上を対象とした「軟式用」表示のあるバットを使用する。

〈感染症予防について〉

- 各ベンチ内には、アルコール消毒液を常備しておく。
- 球場外でのチーム同士の接触を避ける。
- バット、ボール、ヘルメット、キャッチャー用具などの共有するものは、アルコール消毒を行う。
- トイレは、決められたトイレを使用する。
- 昼食を食べる時は、隣との距離を十分にとって食べさせる。（選手・役員のみ可）
- ドリンクの回し飲みはさせない。
- 選手全員の緊急連絡先を、各チームで必ず把握しておく。

＜角田伊具地区中体連野球申し合せ事項＞

- 1) 本大会は5回以降、次に試合をするチームの先発投手がブルペンを使用することができる。ただし、試合中の学校が優先的に使用できるものとする。
- 2) 投手は1日に100球を超えて投球することができない。は適用しない。
- 3) 芝生広場は練習に使用してもよいが、バットの使用、スパイクの着用は禁止する。
- 4) 使用球 全日本軟式野球連盟公認球M号
- 5) ボールボーイは、1試合1チームから2名出すこと。（出せない場合は、相手チームと相談）
- 6) 延期などの決定は、会長、部会長、理事長、委員長、事務局の協議で行う。
 - ・事務局から各校への理事に連絡→理事から顧問が連絡を受ける【5：40】
 - ・予備日以降の延期については緊急理事会で検討
- 7) 自転車の駐輪は施錠し、学校毎にきちんと整列させておくこと。
- 8) 練習場については多目的グラウンドを使用すること。~~なお、割り当て等を行わないので1チームだけで使用することのないようにすること。~~
- 9) ~~選手宣誓は輪番制とする。【今大会は行わない。】~~
H30総体→H30新人→R1総体→R1新人→R2総体→R2新人→R3総体
金津→北角田→丸森→角田→なし→なし→なし
- 10) 救急処置で手に負えない場合は病院に連絡し、搬送する。
- 11) 駐車場での事故・トラブル等の責任は中体連では、一切の責任を負わない。
- 12) 観客席からの撮影に関しては、特別な申請は必要ないが、選手や指導者、役員、審判等が含まれる動画や画像をSNS等ネット上への公開をすることは禁止する。無断での掲載に関して苦情が寄せられている。選手や指導者、役員、審判等の肖像権の保護、トラブルの防止の面からも厳守すること。

＜角田市野球場打合せでの各校へのお願い＞

- 多目的グラウンドもグラウンド整備をする。
- 多目的グラウンドとなりの芝生広場を使用する場合は、アップシューズでキャッチボール程度の練習とする。
- グラウンド整備は、ブルペンの整備も忘れずに行う。
- 車は駐車場に駐車すること。特に球場内への車の出入りは禁止する。
野球場の駐車場が満車の際は、菜の花駐車場への駐車をお願いする。
- 許可を受けた施設以外には出入りしない。
- 野球場のグラウンド内での飲食は禁止。所定の場所を利用する。
- K スポ場内は全面禁煙です。(駐車場の車内も禁煙です。)**
- 保護者の飲食は駐車場の車内でのみ可能です。**
- 選手の食事は、所定の場所で軽食(おにぎりやパンなど)のみ可能です。**
- 使用後は器具を所定の場所に戻し、整備・清掃を行う。
- 貴重品や靴などの盗難、火災予防に注意する。また、暖房器具や、調理器具など危険物の持ち込みは絶対に行わない。
- ごみはすべて持ち帰る。
- 職員又は係の指示に従い使用してください。